

3月のおすすめ花まる本

新着図書は
1日・12日に並びます。

一般書

『時が見下ろす町』

ながおか ひろき
長岡 弘樹 著

様々に変わりゆく風景の中で、唯一変わらなかった大きな時計が目印の百貨店。その前で繰り広げられてきた、時に哀しく、時に愛しい事件とは？ 精緻で心温まる連作ミステリー。

『小説NON』掲載を書籍化。



児童書

『フローレンスナイチンゲール』

デミ 作
さくま ゆみこ 訳

少女のころ、ひとりで空想するのが好きだったフローレンスは、よく病院ごっこをしていました。やがて、両親の反対をおしきって看護を学び、戦地の病院におもむきます。ナイチンゲールの信念の一生を描いた絵本。



『紀州のエジソンの女房』

かじやま すみこ
梶山 寿子 著

世界的織機メーカー・島精機製作所。天才発明家でもあり創業者でもある破天荒な夫・島正博を支え、地元の経済発展にも尽くし、75歳で急逝した妻・和代の波瀾の生涯を、島精機の発展の歴史とともに描く。



『銀杏堂』

たちばな はるか
橘 春香 作・絵

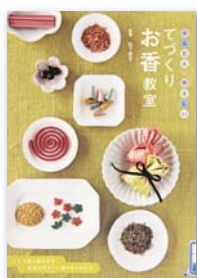
骨董屋「銀杏堂」の女主人・高田さんが世界中を旅してあつめた、自慢の品々。そのひとつひとつに、めくるめく冒険物語が秘められているのです。高田さんが話してくれた、14の冒険のお話。



『てづくりお香教室』

まつした けいこ
松下 恵子 監修

お香の「知る」「つくる」「使う」楽しみを提案。伝統的な16の香料、気分別・場所別の香りのレシピや、つくりかたの手順をていねいに解説するほか、聞香、香りの歴史も紹介します。



『さてさて きょうのおはなしは…』

せ た 貞二 再話・訳
瀬田 のみやま 野見山 響子 画

日本の児童文学の世界に大きな足跡を残した瀬田貞二の生誕百年を記念した昔話集。「かさじぞう」「三びきのやぎのがらがらどん」など全28話を収録する。



3月のおはなしの会

絵本や紙芝居などの読み聞かせをしています

日時 5日(日)・12日(日)・19日(日)・26日(日)
10:00~

場所 中央公民館2階

対象 幼児から小学生

みんなで来てね!



ご協力ありがとうございました!

2月13日(月)から28日(火)は、蔵書点検を実施したため、図書館を特別休館としていました。

この間、皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。

3月1日(水)より再開館しますので、ぜひご利用ください。

